2024年度（令和6年度）幼稚園評価自己評価表

最終更新日	2024年（令和6年） 4月1日
-------	------------------

園番 33	福山市立 新涯 幼稚園
-------	-------------

1 幼稚園教育目標

感性豊かに生き生きと遊び、友だちの中で育ちあう子どもを育てる

2 目指す自園の幼稚園像（ビジョン）

- ・笑顔で登園し、元気いっぱい遊ぶことができる幼稚園
- ・小学校へ向けて「幼児教育において育みたい資質・能力」を育てる幼稚園
- ・教師が資質向上に努め、協同して教育推進に努める幼稚園
- ・保護者や地域の人に信頼され、安心して幼児を預けることができる幼稚園

3 目指す幼児像

- ・自分らしくのびのびと遊ぶ幼児
- ・自分で考え行動する幼児
- ・好奇心豊かでやさしい幼児

4 自園の現状分析（地域環境・園の環境・幼児観・保護者、地域との連携協力・現状課題など）

本園は福山市郊外の田園地域であったが、近年都市化が進み、事業所や商業施設、住宅が立ち並び、幼児をとりまく環境は年々変化してきている。少子化、核家族化が進んでいく中で人とのかかわりが希薄になり、更に近年のコロナ禍で子育て環境にも影響を及ぼしていることが伺える。幼児は、生活経験の少なさから新しい環境に慣れにくく、自分の思いを表現しにくい、友だちとの遊び方がわからないなど、多様な実態がみられ、多くが個別の支援を必要としている。また、感動的な体験が少なく、身近な事象に興味や関心をもって、自ら働きかけようとしたり、根気強く取り組んだりすることに消極的な姿がみられる。保護者は、子育てに悩みを抱えながらコロナ禍を過ごしてきたが、入園して初めて相談できる場ができたことで園や保護者間での信頼関係作りにもつながり、協力的である。近年は学区在住の未就園児が増えており、未就園児の会の参加者も増え、入園数が増えている傾向にある。そこで、保護者をはじめ、隣接する新涯小学校との連携、近隣に残る田やクワイ畑農家、老人会等地域の協力を得ながら、一人一人の幼児が充実して遊べる環境の工夫や支援を行っていくこと、幼児が自ら環境に働きかけ、それらに喜びを感じ、自分で考え、いろいろな方法で伝え合い、友だちと力を合わせて粘り強く行動できる主体的な幼児に育てていくことが本園に課せられた使命である。

5 今年度の重点目標と設定理由（ビジョン実現のために）

重点目標	設定理由
<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの充実を通して主体的に行動する力や人とかかわる力を育てる。 ・身近な自然や物とのかかわり、感動体験を通じて、協同的な活動の中で創造的な思考力や豊かな心を育てる。 ・実践力を高めるため自主的な研究に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が、友だちや教師とのかかわりの中で安定し、自分の思っていることや考えていることを話したり、共に遊びを考えたりし、楽しく充実した生活を進めていけるようになるため。また、互いのよさをわかり、我慢したり、気持ちを切り替えたりしながら、楽しく遊びを進めることができるようになるため。 ・物やこと、自然に興味を持ち、不思議さやおもしろさを感じ集中して根気強く取り組んだり、試したり工夫したりすることによる協同的な活動を通して、学びの基礎的な力を培いたいため。 ・主題「感性豊かに生き生きと遊び、友だちの中で育ちあう子どもを育てる」、副題として「自分らしさを発揮し友だちの存在を感じながら共に育ちあう保育」について自主的な研究を進めるため。

	3年間の目標	1年間の目標	具体的な方策	評価	評価結果	
					○＝反省や課題	◎＝改善のための方策
生きる力の基礎	身近な環境に自ら関わり、それらを生活に取り入れていこうとするようになる。	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心がもてるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児自ら「やってみたい」と働きかけることができるよう、季節に応じて戸外遊びの環境を工夫する。 ・活動を楽しむ中で、発見や考えることの楽しさを味わい、あきらめずにやり遂げることで達成感が味わえる取組を行う。 			
	自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。	体を十分に動かし、進んで外遊びや運動をしようとする子が増える。	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な遊びや生活の中で、体を十分に動かすことで、体力の向上につなげる。 			
	人とかかわりに慣れ、自分の感じたこと、考えたこと、思ったことの概要を表現できる力をつける。	遊びや、生活の中で、安全で楽しく過ごすために必要なきまりを友だちと考えながら、行動できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・靴箱、教室の清掃や整理整頓に努め、活動の変わり目での片付けの大切さや、持ち物を大切に扱うことの大切さに気付くように促す。 ・友だちと楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする態度をもつよう促す。 			
教師の役割	幼児が興味を持ってかかわっていきける環境を構成する。	気持ちの良いあいさつができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの言葉を登園時や生活の場などで使うよう促し、日常的に出来たことを認める声かけをする。 			
	幼児の発達を捉えた保育内容を工夫し実践する。	絵本に興味をもち、お話好きになるとともに言葉に親しみ、先生や友達の話に注意して聞いたり、相手にわかるように話そうとしたりするようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本の読み聞かせや紙芝居等を毎日する。集中して聞ける環境を整え、話している人の方を向いて終わりまで聞くことを促す。 ・日常的に見たこと、感じたこと、自分にしてほしいことなどを言葉で伝えることができるよう促す取組を行う。 			
信頼される幼稚園	保護者・地域に新湊幼稚園の教育内容への理解を進める。	物・人・事とかかわりに面白さを感じ、意欲を引き出し、興味・関心が広がり深まったりする環境を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画や期ごとのカリキュラムに基づき、学年の発達や幼児実態、季節等に応じ、興味を持って遊ぶことのできる環境構成を工夫し、週日案に提示する。 			
	子育ての喜びや楽しさを感じることができるよう親への支援をする。	教育課程に沿って、幼小の接続、3年間を見通した保育実践のために、教育計画の立案、実践、評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の振り返りから幼児の育ちの現状を踏まえ、教育課程に沿って月ごとの教育計画を立案し、実践を通してどの程度の力がついてきたかの判断基準を明確にして評価する。 ・園内研究保育やエピソード研修を年2回以上行う。思考力や表現力を育てることについて、研究・実践を行い、保育の実践力を高めていく。 			
		教育内容や成果を保護者・地域に「たより」やホームページで知らせていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ「園だより」「クラスだより」で月ごとの目標、育ててきている力について知らせる(月1回)。「地域だより」を每学期1回発行する。ホームページで取組状況について随時発信する。 			
		懇談会、教育相談日など子育て交流の場を計画的に設け、子育てについて思いを共有し支援をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談会、教育相談日、また、毎月1回の未就園児の会「びよびよランド」、園庭開放等を計画的に実施する。日常的な教育相談につながるよう内容を工夫して行い、参加した保護者の思いをアンケートで把握する。 			

※【評価】 Aー達成した Bーほぼ達成する Cーじゅうぶん達成していない Dー達成していない 【生きる力の基礎】ー健康・人間関係・環境・言葉・表現 【教師の役割】ー計画的な環境構成・活動場面における教師の役割・人材育成 【信頼される幼稚園】ー情報提供・他の公共機関との連携・幼児と地域住民との人間関係づくり・教育相談